

令和6年度第1回 岐阜県温室効果ガス排出削減計画等評価制度検討部会 の検討結果について（報告）

令和6年度第1回 岐阜県温室効果ガス排出削減計画等評価制度検討部会を開催し、温室効果ガス排出削減計画書及び実績報告書の評価について検討を行いましたので報告します。

開催日時：令和6年6月5日（水） 午後4時00分～午後5時00分

出席委員：上宮委員、岸田委員、小林委員、杉山委員、野々村委員、溝口委員

場 所：岐阜県庁 議会棟2階第2会議室② 対面・オンライン

【主な検討結果】

1 温室効果ガス排出削減計画書（令和4～6年度）及び実績報告書（令和4年度分）の概要・ 評価結果・分析

以下のとおり意見した。

- 電力排出係数が増えたことをいつまでも排出量増の理由にするのではなく、排出削減の取組みが反映されるように、経済活動と排出量を切り離していかなければならない（つまり、エネルギー転換を進めなければならないということ）。
- 水道業は全体の電気使用量の1%を占めており、行政としては一番減らしたいところだと思うので、県が指導して削減を進めていくべきところではないか。
- よりよい生活をするために必要な経済活動による排出量の増加はやむを得ないと思うが、基本的には総排出量も原単位も減らしていく方向になればよい。

<その他>

- 脱炭素化については、削減目標を立てて、それに向かってどのように取り組んでいくのかというバックキャストの考え方を広げていくことも大切である。
- 令和7年度にエネルギービジョンの改定予定があるが、事業者による様々な排出削減の取組みが反映されるべきである。
- 県も率先して省エネの取組みをし、事例を事業者の皆さんに周知してほしい。